

# 大阪府職労 粘り強いたたかいで 賃上げ実現

## 「賃上げで景気回復」の労働者の運動と国民世論の力

大阪府職労は越年闘争となった賃金確定闘争で、「プラス人勤(9800円)に基づく給料表の改定と地域手当の支給割合の引上げ(11%)を2013年12月1日に遡及する」との回答を引き出しました。

戻すたたかいでした。また、「賃上げで景気回復を」との声が大きな国民世論となるもとのたたかいとなりました。

「あたりまえ」の賃金を取り戻すたたかい

公務・民間労働者の要求と怒りを集めて

府当局の最終回答は府労組連の要求した「昨年4月に遡っての賃上げの実施」には至りませんでした。1月17日に示された「平成26年4月より実施」という考え方を考えさせ「12月遡及実施」との回答を引き出しました。賃金カットは、現行のカット率を4分の1以下に大幅に圧縮し、1年延長となりました。今季闘争は、府人事委員会が「府職員の賃金が民間より約3万円低い」と指摘し、その是正を求めるも「あたりまえ」の賃金を取り戻すたたかいです。府労組連は、全職員・教職員署名(2万2735名分)、民間労働者・府内の自治体労働者と共同した決起集会の開催など、要求と怒りを結集したと大きく切りひらいてきました。最終回答は、府労組連が「あたりまえ」の要求を掲げ、職場と地域から粘り強くとりくみをすすめた結果です。到達点を踏まえて、賃金カットの中止とすべての労働者の賃上げをめざし、2014春闘でのたたかいに全力をあげます。



◀府労組連決起集会後のデモ(1月29日)

▶交渉で大阪府当局を追及(1月29日)

# 「憲法を實行せよ!」大運動 「憲法川柳」

最優秀作 藤木 壮さん(守口市職労)

## 憲法は活かすからこそ輝いて

・何よりも「活かすからこそ」の中語が力強い。焦眉の九条も蹂躪しておき「改憲論議」とは―政権党などのアキレス腱をついて共感、見事な最優秀作。

優秀作

## 憲法をまずは通して読んでみる

・自分に「まずは通して」とは快い。そして全ての政治家や仲間にもと呼びかけているのだから、了解。

## 戦火から地球を守る第九条

・硝煙の絶えぬ地球・世界に「第九条」をとば理想ではなく正に正論。誰かさんのきな臭い「積極的平和論」を一蹴して見事な一句。

## なせば成る憲法活かす地方自治

・「なせば成る」。地方自治の最前線にいる作者の力強い言葉、腹構えに拍手。仲間や地域住民にも力強い決意の一句にきつと賛同の声がと思いたい。

特別賞

## 憲法を知らぬ首長いりません

・読まない、知ろうとしない:「いりません」とズバリ。住民と職員支配の権勢欲の塊のような首長があちこちに。憲法を知ると何か具合悪いのか:。

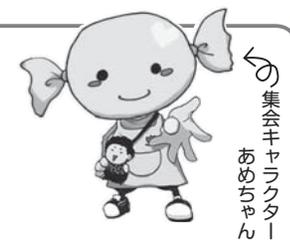
総評

憲法を地方自治に、熱い思いの多くの川柳に囲まれ嬉しい選評作業でした。

基本は、①職場に足の着いた鮮明な思いの一句か ②標語や語呂合わせ的でない斬新な表現か、共感 ③川柳は5・7・5の17音リズムはどうか、などでした。

暮らし、災害や生命まで自治体の役割はいよいよ大きくなっていきます。しかし多くのマスコミの一方的な自治体職員への攻撃も強まっています。さて、朝日新聞から「しんぶん赤旗」まで川柳が紙面に登場しない日はありません。

皆さんが川柳の読み手から詠み手へ。私たちのペンで、戦争あかん、くらしを良くする世論作り」に参加しませんか。大阪では約50の川柳社(クラブ)が皆さんの一句を待っています。ご健吟を祈ります。



の集会キャラクター! あめちゃん

## うちら負けてへんで あつい大阪にようおこし 第22回 自治体保育労働者の全国集会inおおさか

2月22日(土)~23日(日) エルおおさか 参加費 4000円

「平和な世の中を子どもたちに手渡すために私たちがしなければならないこと」  
安斎 育郎さん (安斎科学・平和事務所 所長)

特別報告  
①子どもたちに平和な未来を 高知・本山町職労  
②橋下・維新の暴挙を許さず自治体労働者の誇りをかけた闘い 大阪市労組  
③権利向上と組織化の促進めざす「非正規労働政策づくり」の取り組み 東京自治労連保育部会

講座  
①保育は「福祉」それとも「サービス?」 猪熊 弘子さん  
②「新制度と保育の専門性」 垣内 国光さん

参加賞 (抽選)  
高津 秀夫(府職労)/中村 徳三(府職労)/吉田 澄世(府職労)/小西 裕絵(府職労)/古谷 真孝(府職労)/辻本 智子(府職労)/梶川 明久(堺)/吉松 壮(八尾)/高石 京子(守口)/坂本 恵(守口)/大谷 真澄(守口)/馬上 貴行(守口)/佐伯 裕司(枚方)/栄野 秀利(枚方)/熊給 芳雄(枚方)/村瀬美智代(枚方)/中田 昇(枚方)/川崎 勝也(枚方)/谷垣 博文(枚方)/浅井 久二(豊中)

今月のキーワード STAP細胞  
体のどんな細胞にでもなれる万能細胞の一つですが、これまでとは全く違う新しいタイプです。万能細胞には、ノーベル賞を受賞した山中伸弥さんが発明したiPS細胞や、ES細胞などがありますが、これらよりはるかに簡単に効率的に作製できるとされます。マウス実験では、弱酸性の液体に25分つけるだけで普通の細胞が万能細胞に変化しました。

ジェンダー平等にむけて 子ども・子育て支援新制度  
2017年までに40万人の保育の受け皿を作ると言っていますが、実際にできるかが問題です。仮に新制度で低賃金の保育労働者が増えれば、その多くは女性労働者ということになり、ジェンダー平等とは真っ向から対立するものとなります。